



## 第11回国労フクシマ交流・視察学習会開催!



11月19〜20日で11回  
目となる国労フクシマ交  
流・視察学習会が開催さ  
れました。全国の原発の  
ある地域から青年を中心  
に40名程度の参加があ  
り、九州から福岡執行委  
員が参加し、九州の原発  
の実情を訴えてきまし  
た。

政府が本年8月より福  
島第一原発事故により生  
じた「ALPS処理汚染  
水」の海洋放出を今年度  
は4回に分けて放出する  
としていますが、今後も  
原発に貯められている約  
130万トン以上の処理  
水が2051年まで30

年間も繰り返して行われ  
ることとなります。原発  
自体の廃炉はまだこれか  
らで51年までの「廃炉完  
了」は技術的ありえない  
とされ、さらに長期化す  
る恐れがあります。政策  
府・東電は安全上問題な  
しとしていますが、汚染  
水を希釈しても放射性物  
質の総量は変わらず海洋  
の生態系にどんな影響を  
与えるか未知数です。燃  
料デブリを通過する汚染  
水には、トリチウムだけ  
でなく、60種を超える核  
種が含まれており、中に  
は半減期の長いものも含  
まれ通常の原発からの放  
出とは異なっています。

政府はこれまで、関係  
者の理解なしには海洋放  
出はしないと断ってきた  
ましたが、原発隣の漁業  
団体の「あくまで放出反  
対」立場を遮って漁業者  
支援金を支払うことで強  
引に放出を行ってきました  
た。今のところ風評被害  
は出ていませんが、中国  
やロシアによる海産物輸  
入停止により、海外向け輸  
出量が減っています。魚業  
資源の悪影響や風評被害  
をこれ以上拡大さないた  
めにも、今こそ立止まり、  
地下水の抜本的な止水対  
策を行い、海洋放出の代替  
「大型タンク」や「モルタル  
固定化保管案」を再検討す  
べきです。このモルタル固  
定化保管案は、汚染水をセ  
メントと砂でモルタル化し半  
地下の状態で処分するとい  
うもので、トリチウムだけ  
でなく、60種を超える核  
種が含まれており、中に  
は半減期の長いものも含  
まれ通常の原発からの放  
出とは異なっています。

政府はこれまで、関係  
者の理解なしには海洋放  
出はしないと断ってきた  
ましたが、原発隣の漁業  
団体の「あくまで放出反  
対」立場を遮って漁業者  
支援金を支払うことで強  
引に放出を行ってきました  
た。今のところ風評被害  
は出ていませんが、中国  
やロシアによる海産物輸  
入停止により、海外向け輸  
出量が減っています。魚業  
資源の悪影響や風評被害  
をこれ以上拡大さないた  
めにも、今こそ立止まり、  
地下水の抜本的な止水対  
策を行い、海洋放出の代替  
「大型タンク」や「モルタル  
固定化保管案」を再検討す  
べきです。このモルタル固  
定化保管案は、汚染水をセ  
メントと砂でモルタル化し半  
地下の状態で処分するとい  
うもので、トリチウムだけ  
でなく、60種を超える核  
種が含まれており、中に  
は半減期の長いものも含  
まれ通常の原発からの放  
出とは異なっています。

それどころか原発帰  
に固執し、原発の使用期  
限を20年延長させ60年  
を超えて運転すること  
が可能となる法案を可  
決しました。国際情勢と  
は逆行するこうした政  
策をやめさせるために  
も、運動を強化してい  
くことが求められてい  
ます。

がん保険にできることを、  
もっと。

**NEW**  
「生きる」を創る  
がん保険  
WINGS

1 幅広い保障で  
経済的負担をサポート  
治療前の検査から治療後の外傷ケアまで  
幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービスでアフラックのよりそうがん相談サポート(\*1)※  
アフラックのよりそうがん相談サポート  
「がんかもしれない」と思ったときから  
専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(\*1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社との提携先が提供するサービスであり、  
アフラックの保険契約による保障内容ではありません。  
サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

（募集代理店）（アフラックは代理店制度を採用しています）  
アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5  
交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引換保険会社）  
「生きる」を創る。  
アフラック  
東京第二法人営業部  
東京都千代田区北の内の1-6-1  
丸の内センタービル10階  
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

AFツール-2022-0277-2210030 7月13日